

「エイビーロード海外旅行調査2019」

レジャー渡航先1位は5年連続「台湾」、「韓国」が2位に浮上
 2019年に行きたい国でも「台湾」が1位、人気は継続が予想される
 国際観光旅客税の認知率は76.4%、前年より16.8pt上昇

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の海外旅行に関する調査研究機関「エイビーロード・リサーチ・センター」（センター長：沢登 次彦）は、2018年に海外旅行をした18歳以上の男女を対象に、渡航先や満足度、今後の海外旅行意向に関して調査をしました。その結果をご報告いたします。

調査結果の要約

【2018年海外旅行の実態】 P3～

- 旅行先は「台湾」が5年連続1位を獲得するも、2年連続で数値はダウン
- 2位に「韓国」が入り「ハワイ（オアフ島）」と入れ替わる
 - ・ 「台湾」が16.3%で1位となったが、前年から1.2pt減少し、2年連続で数値を落とした。「韓国」が2.4pt回復し、4年ぶりに上昇に転じた。「ハワイ（オアフ島）」と入れ替わり2位にランクイン。
 - ・ 同行者別ランキングでも「韓国」が好調。「友人」部門では1位を獲得、ほかすべてのランキングで順位を上げた。



台湾の九份

【今後の海外旅行動向】 P5～

《2018年海外旅行経験者》

- 2019年に海外旅行に「行った／行きたい」人の割合は82.5%、前年を下回る
- 人気旅行先は1位「台湾」、2位「ハワイ（オアフ島）」、3位「韓国」
 - ・ 2019年に海外旅行に「行った」「行きたい」人の割合は合わせて82.5%となり、前年（83.7%）を下回った。
- 今後行きたい旅行先は1位「イタリア」、2位「フランス」、3位「スペイン」
 - ・ 「イタリア」が不動の1位。「フランス」が「スペイン」と入れ替わり2位に。

《海外旅行未経験者》

- 行ってみたい旅行先は、1位「ハワイ」、2位「フランス」、3位「イタリア」

【国際観光旅客税の認知・考え】 P7～

- 2018年の海外旅行実施者における国際観光旅客税の認知率は76.4%。前年から16.8pt上昇
- 使途や必要性について支持する割合が前年より増えるが、税収の使い道についての説明はまだ「不十分である」が74.4%

【東京2020オリンピック開催期間中の過ごし方】 P9

- 2020年の東京オリンピック開催中も「特別なことはしない」人が63.8%
- 関東では「東京オリンピックの会場で観戦する」15.4%、「会場以外で観戦する」26.3%と、他地域より関心は高い

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要と回答者プロフィール

「調査概要」

- 調査名 : 「エイビーロード海外旅行調査2019」
- 調査目的 : 海外旅行者の予約状況・消費行動、および人気の海外旅行先・今後行きたい海外旅行先を把握する
- 調査対象 : ○スクリーニング調査：関東・関西・東海の3地域より抽出した18歳以上の男女
○本調査：2018年の海外旅行経験者（出発月が2018年である海外旅行）
- 調査期間 : ○スクリーニング調査：2019年3月1日（金）～3月18日（月）
○本調査：2019年3月19日（火）～3月25日（月）
- 調査方法 : インターネット調査《（株）インテージのマイティモニターを利用》
- 調査対象数 : ○スクリーニング調査：142,402人、調査回収数：52,116人（回収率 36.6%）、調査集計数：52,107人
○本調査：6,609人、調査回収数：5,574人（回収率 84.3%）、調査集計数：5,398人

今回の調査結果を、「平成30年における外国人入国者数及び日本人出国者数について（確定値）（出典：法務省）」より「第8表 年齢別・男女別外国人入国者数・日本人出国者数」を用いて算出したレジャー渡航者構成比（性・年代別）に換算して集計（ウエイトバック集計）を行った。

3地域は関東（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、群馬県、栃木県、茨城県）、関西（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県）、東海（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）を指す。

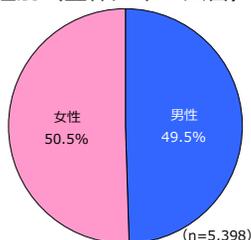
ウエイトバック値

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
男性	1.19095030	0.93064208	0.73901008	0.75110077	0.99777709
女性	1.22560434	1.07490714	1.10264771	1.18543992	1.13739886

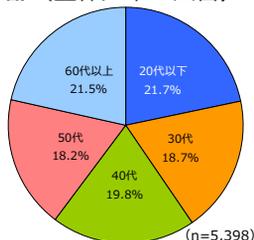
- 国名表記 : 本報告書内に掲載している国・地域は、以下のように聴取している
西ヨーロッパ諸国…「西ヨーロッパ諸国（オーストリア、スイス、クロアチア、オランダ、ベルギー、ポルトガル、パチカン、マルタ、モナコ他）」
東ヨーロッパ諸国…「東ヨーロッパ諸国（チェコ、ポーランド、ハンガリー、ブルガリア、ルーマニア、ロシア他）」
北ヨーロッパ諸国…「北ヨーロッパ諸国（フィンランド、ノルウェー、デンマーク、スウェーデン、アイスランド）」

「回答者プロフィール」

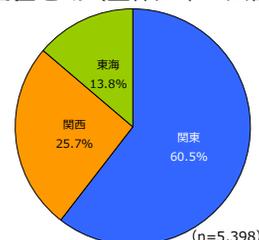
■ 性別（全体／単一回答）



■ 年齢（全体／単一回答）



■ 居住地域（全体／単一回答）



■ ライフステージ（全体／単一回答）

	調査数 (人)	既婚者 (%)							
		未婚男性	子どもなし	末子6歳以下	末子7歳以上	未婚女性	子どもなし	末子6歳以下	末子7歳以上
全体	5,398	16.7	8.9	4.3	19.7	19.5	10.9	3.6	16.5
性別									
男性	2,674	33.7	18.0	8.6	39.7				
女性	2,724					38.7	21.6	7.1	32.7
性・年代別									
男性18～29歳	411	75.1	15.7	7.5	1.7				
男性30～39歳	520	44.0	24.9	22.4	8.8				
男性40～49歳	582	34.6	20.2	13.2	32.0				
男性50～59歳	528	22.8	20.5	1.0	55.8				
男性60歳以上	633	6.5	9.9	0.2	83.4				
女性18～29歳	762					69.5	22.5	7.7	0.3
女性30～39歳	491					44.4	30.0	19.7	5.9
女性40～49歳	487					33.0	28.1	6.8	32.1
女性50～59歳	456					20.5	19.7	0.3	59.5
女性60歳以上	527					9.9	8.0	0.4	81.6

※ ウエイトバック集計を行ったため、性・年代別の男性、女性それぞれの調査数合計は、性別の男性調査数、女性調査数と一致しない場合がある

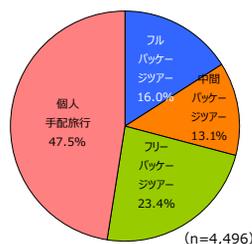
■ 2018年の海外旅行の同行者

（全体／単一回答）※直近の旅行のみ



■ 2018年の海外旅行の形態

（海外旅行検討関与者／単一回答）※直近の旅行のみ



「フルパッケージツアー」観光やアクティビティ、食事がほとんど組み込まれているツアー

「中間パッケージツアー」観光やアクティビティ、食事が一部組み込まれているが、一定の自由時間もあつたツアー

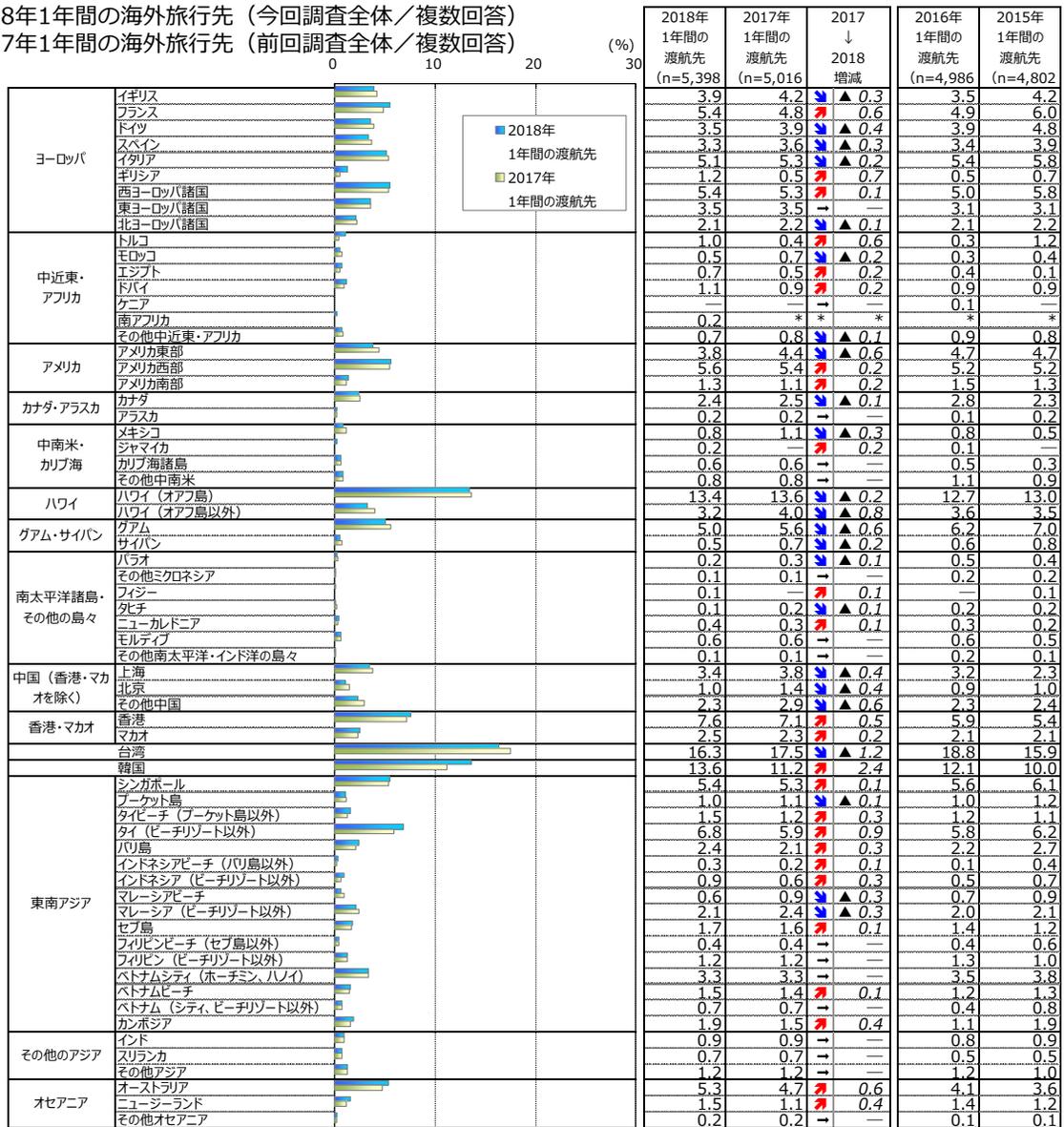
「フリーパッケージツアー」往復航空券とホテル、送迎以外は現地では基本的に自由行動のツアー

2018年に海外旅行に行った人に、その行き先を尋ねた。

- 「台湾」が5年連続1位を獲得！ポイントは2年連続で減少
- 「韓国」が「ハワイ（オアフ島）」を抜き2位、4年ぶりに上昇に転じた
 - 「台湾」への来訪率は16.3%、5年連続で1位だが、前年から1.2pt減、2年連続で減少している。「韓国」が2.4pt上昇し、「ハワイ（オアフ島）」を抜いて2位に。
- 「タイ（ビーチリゾート以外）」「香港」「オーストラリア」などがけん引、中距離が好調
- 大幅にポイントが上昇した「韓国」は、女性での渡航率がすべての年代で上昇

■ 2018年の海外旅行先

- ・ 2018年1年間の海外旅行先（今回調査全体／複数回答）
- ・ 2017年1年間の海外旅行先（前回調査全体／複数回答）



■ 2018年の海外旅行先：「台湾」「韓国」性年代別 前年比較（複数回答）

		全体	男性18～29歳	男性30～39歳	男性40～49歳	男性50～59歳	男性60歳以上	女性18～29歳	女性30～39歳	女性40～49歳	女性50～59歳	女性60歳以上
台湾	2018年	16.3	15.4	15.9	17.9	19.2	16.4	15.3	14.2	16.7	17.9	14.5
	2017年	17.5	16.4	17.1	19.9	20.6	16.1	15.9	17.1	18.2	20.8	13.3
	増減	▲1.2	▲1.0	▲1.2	▲2.0	▲1.4	0.3	▲0.6	▲2.9	▲1.5	▲2.9	1.2
韓国	2018年	13.6	9.9	7.9	11.3	10.4	8.5	23.6	19.9	14.3	16.6	10.6
	2017年	11.2	10.1	6.6	10.2	10.7	8.0	20.8	12.8	10.5	10.0	9.5
	増減	2.4	▲0.2	1.3	1.1	▲0.3	0.5	2.8	7.1	3.8	6.6	1.1

※ポイント線のものにアミカク

※1年間に往ったすべての国・地域を聴取

※「1年間の渡航先」の数値は、当該年調査の数値を掲載。例）「2017年1年間の渡航先」=前回調査（2018年実施）の数値

※「遠距離」=ヨーロッパ、中近東・アフリカ、アメリカ（ハワイ除く）、カナダ・アラスカ、中南米・カリブ海に属する国・地域と、タヒチ、その他南太平洋・インド洋の島々

※「中距離」=ハワイ、南太平洋諸島・その他の島々（タヒチ、その他南太平洋・インド洋の島々を除く）、東南アジア（フィリピン各地域を除く）、その他のアジア、オセアニアに属する国・地域

※「近距離」=グアム・サイパン、中国、台湾、韓国の国・地域と、セブ島、フィリピンビーチ（セブ島以外）、フィリピン（ビーチリゾート以外）

※「*」：2017年までは「その他中近東・アフリカ」、2018年からは「南アフリカ」として聴取

2018年に海外旅行に行った人の行き先の割合を、同行者別にランキングした。
「一人旅」以外で「ハワイ（オアフ島）」がベスト3入り、4部門で1位を獲得し、ハワイ人気が目立つ。

【ファミリー（子連れ家族）】1位「ハワイ（オアフ島）」、2位「台湾」、3位「韓国」

➢ 「グアム」が2.1pt減で後退し、代わりに「韓国」が2.8pt上昇して3位に。「オーストラリア」が1.2ptの上昇で2ランクアップ、5位に。

【ファミリー（親連れ家族）】1位「ハワイ（オアフ島）」、2位「台湾」、3位「韓国」

➢ 「台湾」が数値を落とし2位に後退。3位の「韓国」は8.6pt増と大幅上昇。「アメリカ西部」（15位→4位）、「西ヨーロッパ諸国」（11位→6位）、「ベトナムシティ（ホーチミン、ハノイ）」（15位→9位）が圏外からランクイン。

【夫婦】1位「ハワイ（オアフ島）」、2位「台湾」、3位「イタリア」「韓国」

➢ 「韓国」が1.8pt上昇して3位に。ほか、5位の「フランス」、7位の「香港」が1pt以上上昇。

【カップル】1位「ハワイ（オアフ島）」、2位「韓国」、3位「台湾」

➢ 「台湾」が後退し3位、「ハワイ（オアフ島）」「韓国」はそれぞれポイントを伸ばし、順位が入れ替わる形に。「フランス」（15位→6位）、「イギリス」（23位→8位）、「バリ島」（15位→9位）、「シンガポール」（14位→10位）が圏外からランクイン。

【友人】1位「韓国」、2位「台湾」、3位「ハワイ（オアフ島）」「タイ（ビーチリゾート以外）」

➢ 「韓国」は1.7pt上昇し2014年以来の1位に返り咲き。「イタリア」が1.1pt上昇で圏内に戻る。

【一人旅】1位「台湾」、2位「韓国」「タイ（ビーチリゾート以外）」

➢ 「台湾」が3年連続1位。「オーストラリア」（12位→8位）、「ドイツ」（11位→9位）、「東ヨーロッパ諸国」（12位→10位）が圏外からランクイン。

■同行者別 2018年の海外旅行先 TOP10（全体/5つまでの複数回答）

2018年 順位	2017年 順位	2016年 順位	国・地域	(%)	2017 ↓ 2018 増減
1	1	1	ハワイ（オアフ島）	20.9	0.5
2	2	2	台湾	9.8	▲1.3
3	4	4	韓国	8.5	2.8
4	3	3	グアム	7.9	▲2.1
5	7	9	オーストラリア	5.1	1.2
6	5	6	香港	4.9	0.1
7	8	5	シンガポール	4.6	0.8
8	6	8	ハワイ（オアフ島以外）	4.0	▲0.3
9	9	10	アメリカ西部	3.9	0.5
10	10	11	タイ（ビーチリゾート以外）	3.2	0.6

2018年 順位	2017年 順位	2016年 順位	国・地域	(%)	2017 ↓ 2018 増減
1	1	1	ハワイ（オアフ島）	13.5	▲1.1
2	2	2	台湾	11.4	0.0
3	3	3	イタリア	5.6	▲0.9
	5	4	韓国	5.6	1.8
5	6	10	フランス	4.9	1.2
6	4	6	西ヨーロッパ諸国	4.4	▲0.9
7	13	15	香港	4.1	1.1
	7	10	オーストラリア	4.1	0.5
9	11	5	アメリカ西部	3.6	0.5
10	13	12	スペイン	3.1	0.1

2018年 順位	2017年 順位	2016年 順位	国・地域	(%)	2017 ↓ 2018 増減
1	2	2	韓国	17.7	1.7
2	1	1	台湾	14.4	▲3.4
3	4	4	ハワイ（オアフ島）	5.6	0.2
	5	3	タイ（ビーチリゾート以外）	5.6	1.0
5	3	6	香港	5.4	▲0.1
6	10	12	オーストラリア	3.3	0.7
7	6	16	フランス	3.1	▲0.4
	8	7	アメリカ西部	3.1	▲0.1
	10	8	シンガポール	3.1	0.5
10	17	10	イタリア	3.0	1.1

2018年 順位	2017年 順位	2016年 順位	国・地域	(%)	2017 ↓ 2018 増減
1	2	2	ハワイ（オアフ島）	14.1	0.1
2	1	1	台湾	13.9	▲1.0
3	5	3	韓国	13.4	8.6
4	15	13	アメリカ西部	4.2	1.3
	4	5	香港	4.2	▲1.8
6	11	4	西ヨーロッパ諸国	4.1	0.7
7	6	21	グアム	3.9	▲0.2
8	9	10	タイ（ビーチリゾート以外）	3.6	0.1
9	3		ハワイ（オアフ島以外）	3.3	▲3.0
	15		ベトナムシティ（ホーチミン、ハノイ）	3.3	0.4

2018年 順位	2017年 順位	2016年 順位	国・地域	(%)	2017 ↓ 2018 増減
1	2	2	ハワイ（オアフ島）	14.3	2.5
2	3	3	韓国	10.6	3.0
3	1	1	台湾	10.1	▲2.4
4	4	7	香港	6.2	0.5
5	7	15	アメリカ東部	5.5	1.3
6	15	11	フランス	4.9	2.5
7	5	4	グアム	4.3	▲0.3
8	23	14	イギリス	4.1	2.3
9	15	19	バリ島	3.8	1.4
10	14	10	シンガポール	3.7	0.6

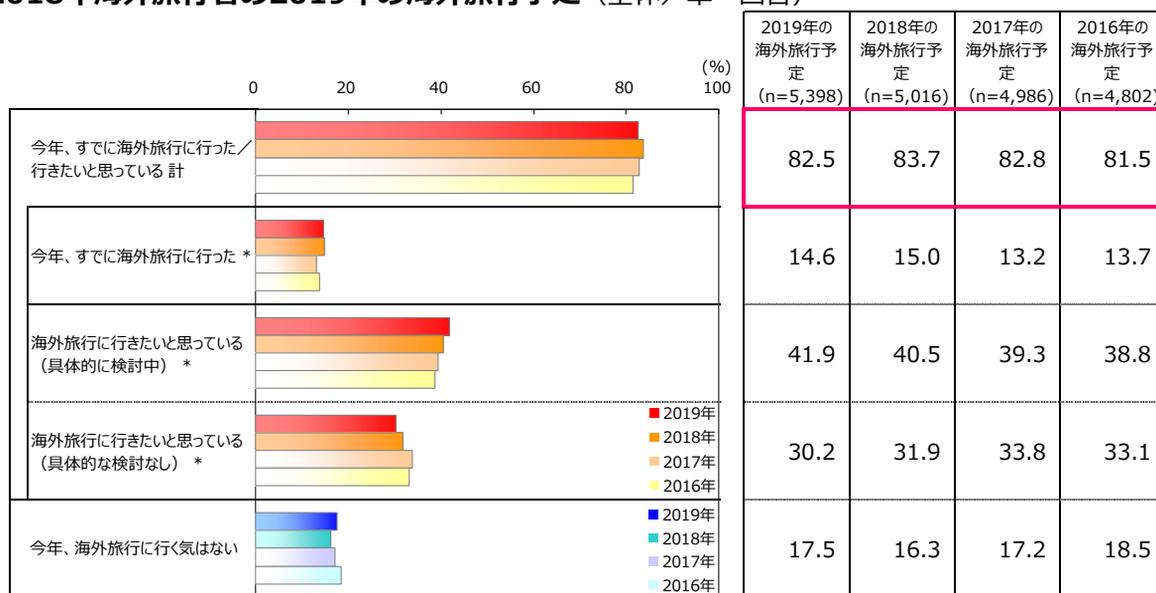
2018年 順位	2017年 順位	2016年 順位	国・地域	(%)	2017 ↓ 2018 増減
1	1	1	台湾	10.1	0.9
2	3	2	韓国	7.4	0.7
	2	3	タイ（ビーチリゾート以外）	7.4	0.3
4	7	10	フランス	5.3	0.8
5	4	6	イギリス	5.2	▲0.8
6	9	7	西ヨーロッパ諸国	5.1	0.9
7	5	8	アメリカ西部	4.6	▲1.0
8	12	9	オーストラリア	4.3	0.9
9	11	14	ドイツ	3.8	0.3
10	12	13	東ヨーロッパ諸国	3.6	0.2

※1回の旅行でも複数の国・地域を訪問することがあるため、5つまでの複数回答とした

2019年に海外旅行に行きたい（行った）か、予定をしているかについて尋ねた。
海外旅行意向率は2018年まで3年連続で増加していたが、今年はストップした形に。

- 2019年に海外旅行に「行った・行きたい」人の割合は82.5%。
- 今年行った・行きたい旅行先は1位「台湾」、2位「ハワイ（オアフ島）」、3位「韓国」。「韓国」は1pt増
- ▶ 2019年（調査時点3月）に「すでに海外旅行に行った」人は14.6%。「行きたいと思っている（具体的に検討中）」（41.9%）、「行きたいと思っている（具体的な検討なし）」（30.2%）を合わせると、2019年に海外旅行に「行った／行きたい」人の割合は、82.5%となった。
- ▶ また、今年行った・行きたいと思っているエリアは、1位が「台湾」（15.5%）、次いで2位が「ハワイ（オアフ島）」（14.8%）、3位「韓国」（11.8%）。ベスト3の順位に変動はないが、「韓国」は1pt上昇した。ほか、9位の「スペイン」、10位の「アメリカ西部」が圏外からランクインしている。

■ 2018年海外旅行者の2019年の海外旅行予定（全体／単一回答）



※ *は複数回答

※ 「海外旅行予定」の数値は、当該年調査の数値を掲載。例）「2018年の海外旅行予定」=前回調査（2018年実施）の数値

■ 2019年に行った・行きたい渡航先TOP10（今年海外旅行に行った・行く意向がある者／複数回答）

全体		n=4,454		
2019年順位	2018年順位	国・地域	(%)	2018 ↓ 2019 増減
1	1	台湾	15.5	▲ 0.2
2	2	ハワイ（オアフ島）	14.8	0.4
3	3	韓国	11.8	1.0
4	6	イタリア	9.5	0.6
5	4	フランス	9.4	0.1
6	5	西ヨーロッパ諸国	9.1	0.1
7	7	オーストラリア	9.0	0.5
8	8	ハワイ（オアフ島以外）	8.1	0.2
9	13	スペイン	8.0	1.0
	10	アメリカ西部	7.6	1.1
10	10	香港	7.6	0.2

今後行ってみたい海外旅行先について、2018年に海外旅行に行った人と、これまでに海外旅行経験のない人とでランキングを作成し、比較してみた。

■ 《2018年海外旅行経験者》 今後行きたい旅行先1位は「イタリア」。2位「フランス」、3位「スペイン」

▶ 今後行きたい旅行先を尋ねたところ、調査開始以来、不動の「イタリア」(34.5%)が引き続き1位を獲得。「フランス」が「スペイン」と入れ替わり2位に。ベスト5はいずれも数値を上げており、ヨーロッパを中心に遠距離エリアが人気だ。

■ 《海外旅行未経験者※》 海外旅行経験のない人の行ってみたい旅行先は1位「ハワイ」、2位「フランス」、3位「イタリア」。

▶ 参考までに、海外旅行未経験者に尋ねた「行ってみたい旅行先」のランキングを見ると、1位は「ハワイ」(44.4%)、2位「フランス」(34.0%)、3位「イタリア」(32.5%)だった。前年と比較すると「グアム」が6位から8位に後退し、「アメリカ東部」が入れ替わり6位に順位を上げている。

※スクリーニング調査の結果から引用

■ 今後行きたい海外旅行先TOP20

(2018年海外旅行経験者/今後の海外旅行意向がある者/10カ国・地域までの複数回答・分からないと回答した者を除く)

全体					n=5,165	
2019年 順位	2018年 順位	2017年 順位	国・地域	(%)	2018 ↓ 2019 増減	
1	1	1	イタリア	34.5	1.4	
2	3	2	フランス	32.9	1.9	
3	2	3	スペイン	32.8	1.2	
4	5	4	ハワイ(オアフ島)	28.4	1.3	
5	6	6	イギリス	28.1	1.3	
6	4	5	オーストラリア	27.1	▲ 0.5	
7	7	8	ドイツ	26.8	1.1	
8	9	9	西ヨーロッパ諸国	26.1	1.7	
	8	7	アメリカ東部	26.1	0.8	
10	11	10	北ヨーロッパ諸国	22.6	0.9	
11	10	11	ハワイ(オアフ島以外)	22.5	▲ 1.0	
12	12	12	アメリカ西部	21.3	0.4	
13	13	13	台湾	19.1	▲ 0.3	
14		15	東ヨーロッパ諸国	19.0	▲ 0.4	
15	15	13	ニュージーランド	17.9	▲ 1.0	
16	16	16	カナダ	17.6	▲ 0.9	
17	17	19	ギリシア	15.5	2.1	
18	18	17	グアム	13.6	0.9	
19	19	19	シンガポール	11.9	▲ 0.5	
20	21	26	トルコ	11.6	1.2	

■ 行ってみたい海外旅行先TOP20

(スクリーニング調査より 海外旅行未経験者/行ってみたい旅行先1~5位の合計)

全体					n=1,745	
2019年 順位	2018年 順位	国・地域	(%)	2018 ↓ 2019 増減		
1	1	ハワイ※	44.4	▲ 1.2		
2	2	フランス	34.0	1.3		
3	3	イタリア	32.5	1.5		
4	4	オーストラリア	30.5	▲ 0.3		
5	5	イギリス	26.3	1.1		
6	8	アメリカ東部	22.3	2.0		
7	7	ドイツ	20.8	0.3		
8	6	グアム	19.9	▲ 2.0		
9	9	台湾	17.7	▲ 2.5		
10	11	アメリカ西部	15.9	0.8		
11	10	西ヨーロッパ諸国	14.6	▲ 2.4		
12	12	北ヨーロッパ諸国	14.5	▲ 0.2		
13	16	スペイン	14.3	2.3		
14	15	韓国	12.3	0.1		
15	13	ニュージーランド	12.0	▲ 1.0		
16	14	カナダ	10.4	▲ 2.5		
17	17	バリ島	9.4	▲ 0.8		
18	18	シンガポール	8.1	▲ 0.4		
19	19	ギリシア	7.7	0.0		
20	21	東ヨーロッパ諸国	6.9	1.3		

※ 「ハワイ」はオアフ島、オアフ島以外のエリアを含む

国際観光旅客税、いわゆる出国税について、認知の状況を尋ねた。

■ 国際観光旅客税の認知率は76.4%、前年の59.6%から16.8pt上昇

- 「概要まで知っている」と回答した人は33.3%、「聞いたことがある程度」（43.1%）も含めた認知率は、76.4%であった。
- 性年代別に見ると、男性の60歳以上ではおよそ9割が認知している一方、女性の18～29歳では認知率が59.2%と他の層と比べて極端に低い。

■ 国際観光旅客税の認知状況（2018年海外渡航者／単一回答）

		(n)	認知状況 (%)			知っている・計 (%)
			概要まで知っている	聞いたことがある程度	知らない	
2018年全体		5,398	33.3	43.1	23.7	76.4
性年代別	男性18～29歳	411	31.9	38.3	29.9	70.2
	男性30～39歳	520	36.0	39.5	24.5	75.5
	男性40～49歳	582	34.6	44.2	21.2	78.8
	男性50～59歳	528	42.2	42.2	15.5	84.4
	男性60歳以上	633	44.5	43.5	12.0	88.0
	女性18～29歳	762	20.1	39.1	40.8	59.2
	女性30～39歳	491	25.2	43.8	31.1	69.0
	女性40～49歳	487	31.2	45.7	23.1	76.9
	女性50～59歳	456	34.3	45.2	20.5	79.5
	女性60歳以上	527	35.2	50.1	14.7	85.3
海外旅行経験別※	ライト	992	17.1	44.4	38.5	61.5
	ミドル	1,311	25.2	45.4	29.4	70.6
	ヘビー	3,096	41.8	41.7	16.5	83.5

【質問文】
あなたは、「国際観光旅客税」についてご存じですか。
※「国際観光旅客税」とは、いわゆる出国税、観光促進税のことです

※「ライト」：これまでに海外旅行に行った回数が1～3回／「ミドル」：これまでに海外旅行に行った回数が4～9回／「ヘビー」：これまでに海外旅行に行った回数が10回以上

(参考) 2017年 国際観光旅客税の認知状況（2017年海外渡航者／単一回答）

		(n)	認知状況 (%)			知っている・計 (%)
			概要まで知っている	聞いたことがある程度	知らない	
2018年調査全体		5,016	18.8	40.8	40.4	59.6
性年代別	男性18～29歳	371	21.2	32.5	46.3	53.7
	男性30～39歳	483	22.0	42.7	35.3	64.7
	男性40～49歳	584	21.0	41.5	37.4	62.5
	男性50～59歳	513	22.5	44.5	33.0	67.0
	男性60歳以上	601	25.3	50.7	24.0	76.0
	女性18～29歳	651	9.5	26.9	63.6	36.4
	女性30～39歳	465	14.0	34.7	51.3	48.7
	女性40～49歳	453	15.1	39.4	45.5	54.5
	女性50～59歳	408	20.8	40.3	38.9	61.1
	女性60歳以上	488	17.8	54.3	28.0	72.1
海外旅行経験別※	ライト	891	12.1	33.7	54.2	45.8
	ミドル	1,181	13.8	38.7	47.5	52.5
	ヘビー	2,944	22.8	43.8	33.4	66.6

【質問文】
あなたは、「国際観光旅客税」についてご存じですか。
※「国際観光旅客税」とは、いわゆる出国税、観光促進税のことです

※「ライト」：これまでに海外旅行に行った回数が1～3回／「ミドル」：これまでに海外旅行に行った回数が4～9回／「ヘビー」：これまでに海外旅行に行った回数が10回以上

国際観光旅客税についての考えを尋ねた。

■ 国際観光旅客税の必要性について、支持する割合は前年よりも増加

■ 一方、税収の使い道についての説明は、74.4%が「不十分である」

- 国際観光旅客税の必要性については53.7%が「必要」と回答、前年と比べて4.7ptの上昇。
- 税額の1,000円については、51.6%が「適切/このままでよい」と回答しており、「高い/見直すべき」と拮抗しているが、「適切/このままでよい」の割合は4.2pt上昇した。
- 税金を支払う人が日本からの出国者であることについては、「見直すべき」が51.9%と是認派を上回った。しかし前年と比べると、「見直すべき」の割合は3.7pt減少している。
- 税金を導入することについての説明は66.5%が「不十分である」と回答。しかし前年と比べると「不十分である」割合は3.9pt減少している。
- 税収の使い道の説明については74.4%が「不十分である」と回答している。

■ 国際観光旅客税に対する考え (2018年海外渡航者/それぞれ単一回答)

(%)
N=5,398

Aに近い	どちらかという Aに近い	どちらかという Bに近い	Bに近い	Aに近い ・計	Bに近い ・計
□日本の観光や経済発展のために…					
(A) 必要			(B) 必要でない		
9.3	44.4	29.4	16.8	53.7	46.2
□税額は、1人あたり1,000円で…					
(A) 適切/このままでよい			(B) 高い/見直すべき		
11.6	40.0	29.3	19.1	51.6	48.4
□税金を支払う人が(外国人、日本人にかかわらず)日本からの出国者であることは…					
(A) 適切/このままでよい			(B) 見直すべき(入国する外国人からも徴収するなど)		
10.4	37.7	30.1	21.8	48.1	51.9
□税金を導入することについての説明は…					
(A) 十分である			(B) 不十分である		
5.5	28.0	36.8	29.7	33.5	66.5
□税収の使い道についての説明は…					
(A) 十分である			(B) 不十分である		
3.9	21.8	38.1	36.3	25.7	74.4

【質問文】
「国際観光旅客税」とは、日本からの出国時にかかる1人あたり1,000円の税金のことです。
2019年1月7日以降の出国において、航空券購入時に上乗せして徴収されています。

税収は、訪日外国人の受入環境整備や情報発信、旅行者の満足度向上のためにあてられる予定です。

海外旅行をする際に「国際観光旅客税」がかかることについて、あなたの考えは(A)もしくは(B)のどちらに近いと思いますか。

(参考) 2017年 国際観光旅客税に対する考え (2017年海外渡航者/それぞれ単一回答)

(%)
N=5,016

Aに近い	どちらかという Aに近い	どちらかという Bに近い	Bに近い	Aに近い ・計	Bに近い ・計
□日本の観光や経済発展のために…					
(A) 必要			(B) 必要でない		
7.5	41.5	30.7	20.3	49.0	51.0
□税額は、1人あたり1,000円で…					
(A) 適切/このままでよい			(B) 高い/見直すべき		
8.9	38.5	30.1	22.5	47.4	52.6
□税金を支払う人が(外国人、日本人にかかわらず)日本からの出国者であることは…					
(A) 適切/このままでよい			(B) 見直すべき(入国する外国人からも徴収するなど)		
8.0	36.4	31.0	24.6	44.4	55.6
□税金を導入することについての説明は…					
(A) 十分である			(B) 不十分である		
4.5	25.1	37.1	33.3	29.6	70.4
□税収の使い道についての説明は…					
(A) 十分である			(B) 不十分である		
3.5	21.5	35.1	39.9	25.0	75.0

【質問文】
「国際観光旅客税」とは、日本からの出国時にかかる1人あたり1,000円の税金のことです。
航空券購入時に上乗せして徴収される予定です、2019年1月7日以降の出国より施行される予定です(2018年3月現在)。

税収は、訪日外国人の受入環境整備や情報発信、旅行者の満足度向上のためにあてられる予定です。

海外旅行をする際に「国際観光旅客税」がかかることについて、あなたの考えは(A)もしくは(B)のどちらに近いと思いますか。

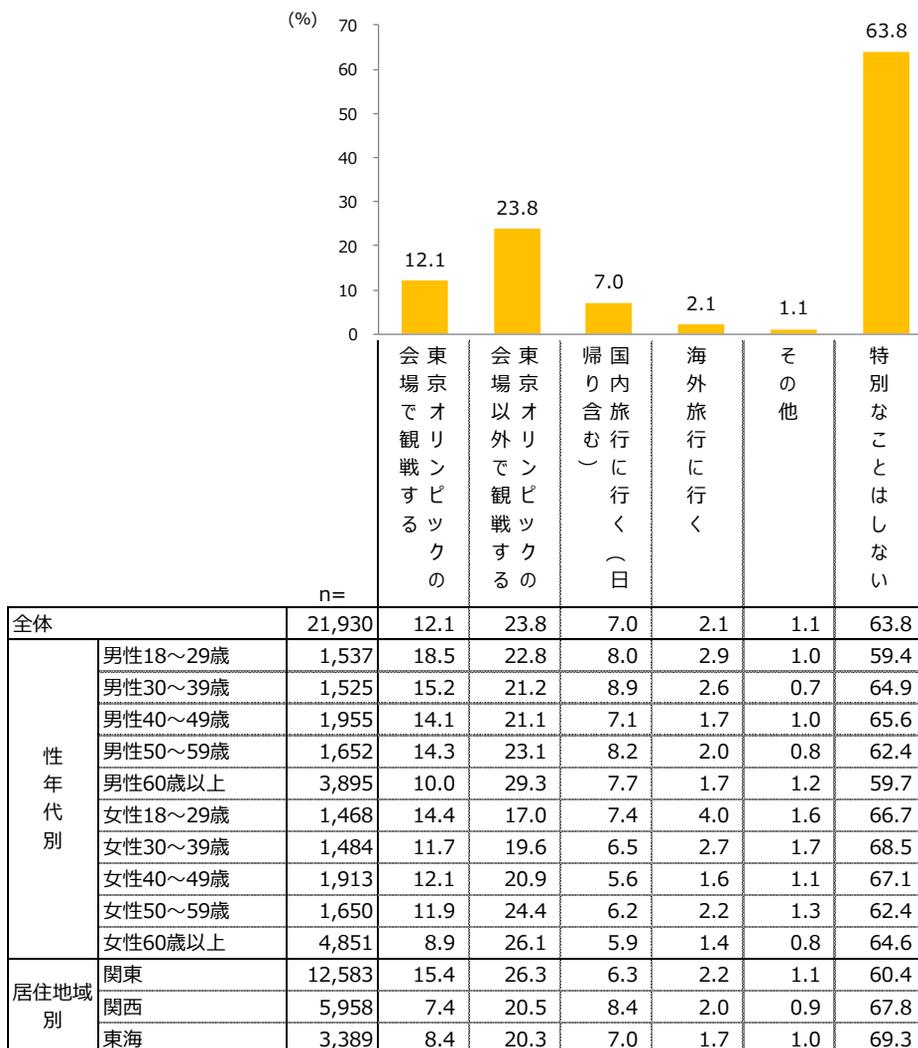
東京2020オリンピックの、開催時の過ごし方について尋ねた。

■ 「特別なことはしない」 63.8%

■ 関東では「東京オリンピックの会場で観戦する」 15.4%、「会場以外で観戦する」 26.3%と他地域より関心は高い

- ▶ 「東京オリンピックの会場で観戦する」は12.1%、「東京オリンピックの会場以外で観戦する」が23.8%。多くは「特別なことはしない」（63.8%）と回答した。また、「海外旅行に行く」と答えた人は2.1%にとどまった。
- ▶ 男性の18～29歳は「東京オリンピックの会場で観戦する」が18.5%と全体値を6pt超上回る。一方、男性の60歳以上は「東京オリンピックの会場以外で観戦する」が29.3%と高め。一方、女性の18～29歳は、他の世代に比べて「海外旅行に行く」と回答した割合がやや高い。
- ▶ 関東では「東京オリンピックの会場で観戦する」（15.4%）、「東京オリンピックの会場以外で観戦する」（26.3%）が他地域よりも高く、関心の高さがうかがえる。

■ 東京2020オリンピック開催期間中の過ごし方 （スクリーニング調査より 全体／複数回答）



【質問文】

2020年東京オリンピック前後の休暇について

2020年は開会式と閉会式前後の7月23日、7月24日、8月10日を祝日とすることが特例として定められました。これにより、土日休みの場合7月23日から4連休、8月8日から3連休となります。

これは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な準備及び運営を目的としています。

上記を踏まえて、2020年の東京オリンピックの開催期間中はどのように過ごすつもりですか。あてはまるものを全てお選びください。

※まだ決まっていない方も、現時点でのご予定をお答えください。